

## 講演会・講習会

原則として日本化学会の会員は、主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できます。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ [www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html](http://www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html) をご参照下さい。

なお、日程・内容などが変更になる場合もございますので、最新の情報は各主催者のHP などでご確認下さい。

日本化学会が主催・共催・協賛・後援し、本誌に掲載された討論会に関する情報は、下記本会ホームページからもご覧になることができます。  
[www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html](http://www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html)

### 分析機器講習会 溶液 NMR, よりよいスペクトルを得るために

—千葉大学 (CIRIC, CAI),  
JEOL 分析機器講習会—

**主催** 千葉大学千葉ヨウ素資源イノベーションセンター (CIRIC) 共用機器センター (CAI) 日本電子

**後援** 日本化学会

**会期** 5月19日(火)13時~17時

**開催方式** 対面式

**会場** 千葉大学西千葉キャンパス千葉ヨウ素資源イノベーションセンター 1階講義室/NMR室 (千葉市稲毛区弥生町1-33) [交通] JR総武線「西千葉」駅から徒歩約10分  
**参加申込締切** ただし定員(40名)になり次第

溶液 NMR の基礎とスペクトル解釈の概略を学び、NMR 測定で良いデータを得るための基礎知識の習得を目指します。初心者を対象にサンプル調整のコツや測定に必要なパラメータの意味を説明するほか、通常使用している自動測定時の分光計の動作についても詳しく解説します。これにより自動測定だけでなく、目的に応じたスペクトルを得るためのヒントを提供します。

1. 溶液 NMR の基礎と測定法、質疑応答  
2. 溶液 NMR 実機の実演 (※会場: 同センター内 NMR 室)

3. 個別相談など

**講師** 朝倉克夫 (日本電子)

**参加費** 無料

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 千葉大学千葉ヨウ素資源イノベーションセンター CIRIC 事務局 <https://ciric.chiba-u.jp>

### 分析機器講習会 固体 NMR の基礎と測定技術

—千葉大学 (CIRIC, CAI),  
JEOL 分析機器講習会—

**主催** 千葉大学千葉ヨウ素資源イノベーションセンター (CIRIC) 共用機器センター (CAI) 日本電子

**後援** 日本化学会

**会期** 5月20日(水)13時~17時

**開催方式** 対面式

**会場** 千葉大学西千葉キャンパス千葉ヨウ素資源イノベーションセンター 1階講義室/NMR室 (千葉市稲毛区弥生町1-33) [交通] JR総武線「西千葉」駅から徒歩約10分  
**参加申込締切** ただし定員(40名)になり次第

固体試料の NMR 測定では、溶液 NMR とは異なる試料管、プローブを用いるのが一般的です。本講演では、固体 NMR 初心者や、溶液 NMR の経験はあるが固体 NMR は未経験という方を対象に、溶液との違いや、固体特有の技術を解説します。具体的には、固体有機化合物の測定で最も多く使用される CP/MAS 法を例に挙げ、測定原理や手法のポイントまでわかりやすく紹介します。

1. 固体 NMR 講演、質疑応答  
2. 固体 NMR 実機の実演 (※会場: 同センター

—内 NMR 室)

3. 自由討論・個別相談など

**講師** 芦田 淳 (日本電子)

**参加費** 無料

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 千葉大学千葉ヨウ素資源イノベーションセンター CIRIC 事務局 <https://ciric.chiba-u.jp>

### 分析機器講習会 質量分析基礎講座

—千葉大学 (CIRIC, CAI),  
JEOL 分析機器講習会—

**主催** 千葉大学千葉ヨウ素資源イノベーションセンター (CIRIC) 共用機器センター (CAI) 日本電子

**後援** 日本化学会

**会期** 5月21日(木)13時~16時

**開催方式** 対面式

**会場** 千葉大学西千葉キャンパス千葉ヨウ素資源イノベーションセンター 1階講義室 (千葉市稲毛区弥生町1-33) [交通] JR総武線「西千葉」駅から徒歩約10分

**参加申込締切** ただし定員(40名)になり次第

質量分析法 (MS) は、様々なイオン化法・質量分離法の組み合わせで、定量分析、材料分析、生体分析など多様なアプリケーションに対応しています。本講座では、これから質量分析を使い始める方や使い始めて間もない方を対象に、その概要や基礎知識の習得を目指します。

1. 基礎講座 (座学)

2. 質疑応答

**講師** 佐藤貴弥 (日本電子)

**参加費** 無料

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 千葉大学千葉ヨウ素資源イノベーションセンター CIRIC 事務局 <https://ciric.chiba-u.jp>

### 第 419 回 液体クロマトグラフィー 研究懇談会

—食品分析事例を通じて学ぶ

HPLC, LC/MS, 前処理等の技術—

**主催** 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会

**後援** 日本化学会

**会期** 5月21日(木)13時~17時

**開催方式** 対面式

**会場** 北とびあ・901 会議室 (北区王子1-11-1) [交通] JR 京浜東北線「王子」駅北口より徒歩 2 分

**参加申込締切** 5月13日(水)入金締切時刻: 15時まで

食品分析分野の分析対象は栄養成分、無機成分、有害成分など多岐にわたります。また、一般に多くの夾雑成分が含まれており、正しい分析値を得るために多くの工夫が必要であることから、分析事例を通じて様々な HPLC, LC/MS, 前処理等の技術を学ぶことができます。今回は、食品分析という大きな枠の中で

特定分野にとらわれず、多様な演題で食品分析事例を紹介していただきます。

**講演**

1. 講演主題概説 (オーガナイザー) (日本食品分析センター) 横関俊昭

2. 穀類中の遊離アスパラギン分析法開発を通じて学ぶ HPLC の技術 (日本食品分析センター) 横関俊昭

3. 食品中 PFAS 分析のための前処理手法 (ジエールサイエンス) 太田茂徳

4. LC-ICP-MS を用いた化学形態別分析 (日本食品分析センター) 松本衣里

5. 食品中栄養成分の HPLC 分析 (島津製作所) 野村文子

6. LC-MS/MS による残留農薬・カビ毒分析の事例: 前処理による精製効果を中心に (日本食品分析センター) 木村彩子

7. 麻痺性貝毒分析の前処理・測定技術 (日本食品検査) 橋田 規

8. 総括: 食品分析事例を通じて学ぶ HPLC, LC/MS, 前処理等の技術 (東理大) 中村 洋

**参加費** 学生 1,000 円, 後援学会・個人会員 4,000 円, 後援学会・団体会員 4,500 円, その他 5,000 円

**懇親会** 講演終了後。会費 5,000 円

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** (公社) 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 E-mail: [yokozekit@jfrl.or.jp](mailto:yokozekit@jfrl.or.jp) <https://www.lckon.org/lckon/reikai/lckon0419.html>

### 分析機器講習会 EPMA 基礎と応用講座

—千葉大学 (CIRIC, CAI),  
JEOL 分析機器講習会—

**主催** 千葉大学千葉ヨウ素資源イノベーションセンター (CIRIC) 共用機器センター (CAI) 日本電子

**後援** 日本化学会

**会期** 5月22日(金)13時~15時30分

**開催方式** 対面式

**会場** 千葉大学西千葉キャンパス千葉ヨウ素資源イノベーションセンター 1階講義室 (千葉市稲毛区弥生町1-33) [交通] JR総武線「西千葉」駅から徒歩約10分

**参加申込締切** ただし定員(40名)になり次第

本講習では、EPMA の基礎編として『電子顕微鏡による組織観察・分析の基礎と応用』を体系的に解説し、応用編として Li 電池や Li 等軽元素含有合金、ポリマー分析、軽元素の定量性や角度分解軟 X 線分光などの軟 X 線を用いた解析事例を幅広く紹介いたします。

1. EPMA 基礎講座 (座学)

2. EPMA 応用講座 (座学)

3. 質疑応答

**講師** 高橋秀之 (日本電子)

**参加費** 無料

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 千葉大学千葉ヨウ素資源イノベーションセンター CIRIC 事務局 <https://ciric.chiba-u.jp>

## 第43回 無機・分析化学コロキウム

主催 日本化学会東北支部

会期 5月22日(金), 23日(土)

開催方式 対面式

会場 未来学舎 KIBOTCHA (東松島市野蒜字亀岡80) [交通] 仙石東北ライン「野蒜」駅下車徒歩5分

参加申込締切 定員(92名)になり次第  
招待講演

1. 有機ケイ素-金属協働系錯体・クラスター・触媒開発 (東大生研) 砂田祐輔
2. 産業界で使える! 錯体触媒の精密設計 (東科大) 中島裕美子
3. 炭素資源の循環を指向した学際研究~製鉄研究とバイオマス研究 (東北大院薬) 田原淳士

依頼講演

1. ミュオン触媒核融合の新展開と課題 (東北大院理) 木野康志
2. 三重鎖形成ペプチド核酸プローブによるRNAセンシング (東北大院理) 西澤精一
3. 岩塩構造希土類酸化物の世界 (東北大院理) 福村知昭

他4件

参加費 一般20,000円, 学生10,000円(予定)

参加申込方法 Web

申込先 東北大学大学院理学研究科化学専攻 橋本久子, 小室貴士(実務担当) HP (<https://forms.gle/trUAsVHBcvW74jw96>) にてお申し込み下さい。

問合せ先 980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 東北大学大学院理学研究科化学専攻 橋本久子, 小室貴士(実務担当) 電話(022)795-6539 FAX(022)795-6543 E-mail: hisako.hashimoto.b7@tohoku.ac.jp

## 化学×音楽2026

—ドイツ作曲家三大Bと元素の周期表—

主催 化学オーケストラ 化学アンサンブル

後援 日本化学会

会期 5月24日(日) 開場13時30分, 開演14時

開催方式 対面式

会場 きゅりあん(品川区立総合区民会館)大ホール(品川区東大井5-18-1) [交通] JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線「大井町」駅徒歩2分, 京浜急行線「青物横丁」駅徒歩15分

参加申込締切 参加申込不要(全席自由)

「化学×音楽」ドイツ作曲家三大Bと称されるバッハ, ベートーベン, ブラームスの曲と元素の周期表に登場するB (oron) のトークも交えたコンサートです。

曲目

バッハ [Ba(rium)ch] 「ブランデンブルク協奏曲」第4番から

ベートーベン [Be(ryllium)ethoven] 「フィデリオ」序曲

ブラームス [Br(omine)ahms] 「ハンガリー舞曲」から交響曲第一番八短調

指揮: 宮野谷義傑

参加費 無料

参加申込方法 E-mail

申込先・問合せ先 化学オーケストラ事務局 木原伸浩 E-mail: cheminfo@chem-orch.jp, org <https://chem-orch.jp/org/>

## 界面コロイドラーニング (東京会場)

—第42回現代コロイド・界面化学基礎講座—

主催 日本化学会コロイドおよび界面化学部会

会期 5月28日(木), 29日(金)

開催方式 対面式

会場 同志社大学東京サテライト・キャンパス(中央区京橋2-7-19 京橋イーストビル3階) [交通] JR「東京」駅八重洲南口徒歩6分・東京メトロ銀座線「京橋」駅徒歩1分

参加申込締切 定員になり次第

界面・コロイド化学は、洗浄・化粧品・塗料など日常生活に密着した製品から、医療材料・医薬品、最先端の電子部品用材料まで、様々な工業製品開発において重要な役割を果たしています。本講座は、特に若手社員や新たにこの分野の知識を必要とされている方々を対象とし、界面・コロイド化学の幅広い内容を基礎からしっかり学んでいただける、毎年大好評の集中講義です。東京と大阪それぞれ別日程で開催します。

5月28日(木)

1. コロイド・界面科学 —表面張力と表面積が織りなす世界(山形大) 野々村美宗
2. 基礎からの界面活性剤(花王) 加賀谷真理子
3. 乳化の基礎(コスメスクリプトコンサルティング) 岡本 亨
4. 界面活性剤多成分溶液系における相図の見方と製剤への応用(日光ケミカルズ) 鈴木敏幸

5. 微粒子分散系の分散・凝集の基礎(筑波大) 小林幹佳

5月29日(金)

6. 洗浄の基礎と応用(花王) 坂井隆也
  7. 固体表面・細孔空間での現象(信州大) 飯山 拓
  8. 有機・無機ナノ粒子の製法と基礎物性(東北大) 蟹江澄志
  9. 高分子の界面化学(関西大) 宮田隆志
- 参加費 部会員30,000円, 日本化学会・協賛学会員35,000円, 非会員40,000円, 学生10,000円(いずれも教科書込)

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 第42回現代コロイド・界面化学基礎講座事務局 E-mail: jigyokukaku\_01@colloid.csj.jp [https://colloid.csj.jp/202603/42th\\_colloid\\_interface\\_tokyo/](https://colloid.csj.jp/202603/42th_colloid_interface_tokyo/)

## プラズマ分光分析研究会 第128回講演会

—環境汚染の過去と現在, そして未来へ—

主催 プラズマ分光分析研究会

協賛 日本化学会

会期 5月29日(金)10時~17時

開催方式 オンライン・対面併催

会場 環境省国立水俣病総合研究センター水俣病情報センター(水俣市明神町55-10 エコパーク水俣内) [交通] 九州新幹線「新水俣」駅より車で15分

参加申込締切 定員に達しない場合は、会場、オンラインともに当日参加が可能です※要旨集の事前送付は5月19日(火)受付分まで。以降は、後日送付いたします。

1. 熊本県地下水調査におけるICP-MSの活用(三計テクノス) 春日博之
  2. 仙台伊達家墓室内副葬品の微量化学分析~歴史考古学と分析化学の融合研究(熊本大) 中田晴彦
  3. プラズマ分光分析研究会各賞授賞式
  4. 2026年度技術賞受賞講演: 合金中レアメタルの高精度分析法の開発と水銀分析の国際標準化(明星大) 上本道久
  5. キレート樹脂固相抽出/ICP-MSによる都市域環境水試料の超高感度多元素分析(ユーロフィン日本総研) 藤森英治
  6. 水俣病患者と障がい者—差別のない世の中に(水俣病資料館語り部の会) 永本賢二
  7. 鹿児島湾海中の水銀及びセレン濃度の季節変動とその生態系影響(鹿児島大) 富安卓滋
  8. 情報センター内展示物と水俣病資料館見学会(国立水俣病総合研究セ) 實来佐和子
- 参加費 会員2,000円, 非会員5,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員2,000円 ※要旨集のみの購入1冊2,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ先 192-0392 八王子市堀之内1432-1 プラズマ分光分析研究会事務局 大関杏子 電話(042)816-3001 E-mail: ozeeki@plasma.es.titech.ac.jp <https://plasma260529.peatix.com>

## 第60回 高分子の基礎と応用講座

—わかりやすい高分子入門—

主催 高分子学会関西支部

協賛 日本化学会近畿支部

会期 6月3日(水)9時05分~4日(木)17時40分

開催方式 オンライン

参加申込締切 5月15日(金)ただし定員(150名)になり次第

講演

第1日目 6月3日(水)

1. 高分子とはなにか: 高分子の未来を考える(京工繊大院工芸) 中 建介
2. 高分子合成と反応(1) —高分子合成・重合の基礎と重合法各論(京大院工) 寺島崇矢
3. 高分子合成と反応(2) —制御重合による精密高分子合成と構造設計(京大院工) 寺島崇矢
4. 高分子稀薄溶液物性 —平均分子量と高分子鎖の平均的広がりの関係からわかること(京大院工) 井田大地
5. 高分子のレオロジー(福井大工) 松本 篤

第2日目 6月4日(木)

1. 高分子の固体構造(滋賀県大工) 竹下宏樹
2. 高分子の分析(徳島大理工) 平野朋広
3. 表面・界面・接着(関西大化学生命工) 宮田隆志
4. プラスチック —特性と成形加工(阪技術研) 山田浩二
5. 高分子バイオマテリアルと再生医療(公立小松大保健医療) 山岡哲二

参加費 会員25,000円, 日本化学会会員

25,000円, 協賛団体 25,000円, 官学 8,000円, 学生 3,000円, 非会員 40,000円

**参加申込方法** Web

**申込先** 高分子学会関西支部 [https://spsj.or.jp/branch/kansai/event/event\\_124.php](https://spsj.or.jp/branch/kansai/event/event_124.php)  
**問合せ先** 604-0857 京都市中京区烏丸通二条上ル蒔絵屋町 267 烏丸二条ビル 3 階 高分子学会関西支部 電話 (080) 6769-7933 E-mail: kansai@spsj.or.jp <https://spsj.or.jp/branch/kansai/>

## 近畿化学協会 有機金属部会 2026 年度 第 2 回 (東京) 例会

**主催** 近畿化学協会有機金属部会

**後援** 日本化学会

**会期** 6月9日(火) 13時30分～17時

**開催方式** オンライン・対面併催

**会場** 東京大学工学部 5 号館 51 号講義室 (文京区本郷 7-3-1) [交通] (1) 地下鉄南北線「東大前」駅徒歩 3 分, (2) 地下鉄丸ノ内線・大江戸線「本郷三丁目」駅徒歩 10 分, (3) 地下鉄千代田線「根津」駅徒歩 10 分  
**参加申込締切** 5月26日(火)

1. 固体触媒の特長を利用した環境調和型脱水素酸化反応の開発 (東大院工) 山口和也  
 2. 未踏炭素機能科学をめざして (理研) 伊丹健一郎  
 3. イリジウム触媒を用いる C-H 活性化を起点とする反応開発 (早大先進理工) 柴田高範

**参加費** 無料

**懇親会** 会費 5,000 円

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 近畿化学協会有機金属部会 電話 (06) 6441-5531 E-mail: om@kinka.or.jp <https://kinka.or.jp/om/meeting/2026-2.html>

## 第 52 回有機金属化学セミナー

—イチから学ぶ有機金属化学：  
最先端研究のための基礎知識—

**主催** 近畿化学協会有機金属部会

**協賛** 日本化学会近畿支部

**会期** 6月17日(水) 9時～17時

**開催方式** オンライン

**参加申込締切** 5月20日(水)

有機金属化学セミナーは、有機金属化学の基礎から触媒反応への応用、機能性有機材料への展開まで、そのエッセンスをたった 1 日で学ぶことができるお得な講習会です。オンライン開催なので全国どこからでも参加可能です。さらに、当日都合が悪い方も参加登録さえすれば後日オンデマンドで動画視聴いただけます (期間限定)。当日の質疑応答に加え、事前・事後に E-mail での質問も受け付け、自慢の講師陣とインタラクティブに学習できる機会を提供します。

1. 遷移金属錯体触媒反応を理解するための基礎知識 (京大化研) 大木靖弘  
 2. クロスカップリング反応 (京都工繊大) 大村智通  
 3. C-H 変換反応 (九大先導研) 國信洋一郎  
 4. 配位子制御による不斉金属触媒反応 (京大院工) 山本武司  
 5. 可視光レドックス触媒反応の基礎から応

用 (阪大院基礎工) 鷹谷 絢

※開催終了後にオンデマンド配信あり。

※オンデマンド配信限定の付録講演 (過去のアーカイブ配信)

6. オレフィンメタセシス反応 (阪公大院理) 神川 憲

7. 遷移金属触媒反応を活用する機能性有機材料の合成 (兵庫県大院理) 三宅由寛

**参加費** 協賛団体会員 20,000 円, 大学官公庁所属会員 10,000 円, 近畿化学協会有機金属部会法人会員 15,000 円, 一般 35,000 円, 学生 4,000 円 ※参加費のほかにシステム利用料 220 円が必要になります。

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 近畿化学協会有機金属部会 電話 (06) 6441-5531 E-mail: om@kinka.or.jp [https://kinka.or.jp/om/s\\_052.html](https://kinka.or.jp/om/s_052.html)

## 第 66 回塗料入門講座

**主催** 色材協会 関東支部

**協賛** 日本化学会

**会期** 6月18日(木) 9時25分～7月3日(金) 16時45分

**開催方式** 対面式

**会場** 日本ペイントホールディングス (株) 東京事業所 (品川区南品川 4-1-15) [交通] JR 京浜東北線「大井町」駅徒歩 12 分, 京浜急行「新馬場」駅南口徒歩 7 分

**参加申込締切** 定員 (100 名) になり次第

**参加費** 色材協会会員 49,300 円, 日本化学会会員 49,300 円, 非会員 65,000 円

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 一般社団法人色材協会 原剛 電話 (03) 3443-2811 FAX (03) 3443-3699 E-mail: office@jscm.or.jp [https://shikizai.org/66\\_toryo\\_nyumon/](https://shikizai.org/66_toryo_nyumon/)

## セミナー“化学千一夜” あすの化学への夢を語ろう

**主催** 有機合成化学協会関西支部

**共催** 日本化学会近畿支部

**会期** 6月19日(金), 20日(土)

**開催方式** 対面式

**会場** (1) 株式会社堀場テクノサービス / (2) ホテルピナリオ嵯峨嵐山 ((1) 京都市南区吉祥院宮の東町 2 / (2) 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町 3-4) 集合: 株式会社堀場テクノサービス [交通] JR 東海道本線「西大路」駅より徒歩約 13 分, 阪急京都線「西京極」駅より徒歩約 15 分

**参加申込締切** 5月18日(月) 定員 (40 名) になり次第

**第 1 日** 6月19日(金)

1. [講演] バッチからフローへ: 化学プロセス変革の実例と課題 (シオノギファーマ) 岡本和也

2. [講演] なぜ HORIBA は“特注”をやめないのか? —反応モニタリングに宿る思想 (堀場製作所) 廣瀬侑太郎

3. [見学会] (株) 堀場テクノサービス施設見学

4. [放談会] 不均一系触媒の魅力にはまっていた 35 年～不均一系触媒の開発と反応適用, そして新たなデバイスを組み合わせた新反応への展開 (愛知工大) 佐治木弘尚

**第 2 日** 6月20日(土)

5. [講演] 創薬化学における元素多様化の試み: クレイジーな分子設計で開拓する創薬ケミカルスペース (大阪医薬大薬) 藤井晋也

6. [講演] ナノカーボンはどこまで化学になる? ~有機化学で切り拓く合成・機能化 (岡山大異分野基礎研) 仁科勇太

7. [講演] 日本の森林資源を活かす: 石油由来材料から植物由来材料へ (京大院農) 上高原 浩

**参加費** 主催共催団体会員 35,000 円 (ただし学校, 官公庁会員 25,000 円), 学生会員 18,000 円, 非会員 45,000 円, 学生非会員 25,000 円, シニア会員 20,000 円 ※参加費には宿泊費, 食費, 講演要旨 (PDF 版), 消費税などが含まれます。

**夕食懇親会** 6月19日(金) 18時30分～19時30分。

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 550-0004 大阪市西区鞆本町 1-8-4 大阪科学技術センター 6 階 有機合成化学協会関西支部 電話 (06) 6441-5531 E-mail: seminar@soc-kansai.org [http://www.soc-kansai.org/event/2026/2026\\_senichiya.html](http://www.soc-kansai.org/event/2026/2026_senichiya.html)

## 第 420 回 液体クロマトグラフィー 研究懇談会

—LC, LC/MS 分析におけるソフトやハードを活用した効率化・自動化—

**主催** 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会

**後援** 日本化学会

**会期** 6月24日(水)

**開催方式** 対面式

**会場** 北とぴあ・902 会議室 (北区王子 1-11-1) [交通] JR 京浜東北線「王子」駅北口より徒歩 2 分

**参加申込締切** 6月16日(火)

LC, LC/MS ユーザーは、各ベンダーから提供される高機能なソフトやハードを活用して業務に当たっています。一方でその機能をフル活用しているユーザーはそれ程多くないのではないのでしょうか。ソフトやハードの機能を活用すれば生産性を高めることができます。本例会では、LC, LC/MS 分析におけるソフトやハードを活用した効率化・自動化の機能と事例をご紹介します。

**講演**

1. 講演主題概説 (オーガナイザー) (味の素) 大貫隆史  
 2. 分析現場における LC, LC/MS 分析の効率化事例の紹介 (味の素) 大貫隆史  
 3. コアシェル型充填剤を用いた場合の高効率化について (クロマニックテクノロジー) 長江徳和  
 4. HPLC 分析の効率化を支援する機能と事例紹介 (島津製作所) 寺田英敏  
 5. LC/MS 用オンライン脱塩チューブ自動切換え装置の開発 (浜松医科大学/プレッパーズ/エムエス・ソリューションズ) 高橋 豊  
 6. ラボの自動化とデジタル化最前線 (アジレント・テクノロジー) 林 慶子  
 7. デマンドドリブン型分析系の構築と実装 (日本食品検査) 橋田 規  
 8. 総括: LC, LC/MS 分析におけるソフトや

ハードを活用した効率化・自動化 (東理大) 中村 洋

参加費 学生 1,000 円, 後援学会・個人会員 4,000 円, 後援学会・団体会員 4,500 円, その他 5,000 円

懇親会 講演終了後, 情報交換会。会費 5,000 円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会 E-mail: takashia.oonuki.u4x@asv.ajinomoto.com https://forms.gle/AeDTi8nMfV297i5T6

## 日本プロセス化学会 東四国地区フォーラム 2026 年度 第 1 回 (通算 39 回) セミナー

主催 日本プロセス化学会東四国支部

後援 日本化学会

会期 6月27日(土)14時~18時

開催方式 対面式

会場 徳島大学薬学部 (蔵本キャンパス) 長井記念ホール (徳島市庄町 1-78-1) [交通] JR「蔵元」駅より徒歩 10 分

参加申込締切 当日受付

1. 「仕事をすると何？」——これから世の中に出て行く皆さんへ (ラベニール 3000) 笹岡三千雄

(座長) 大江匡彦 (シオノギファーマ徳島工場 基盤強化部門拠点 EHS)

2. 触媒的骨格転位反応の新展開 (東北大高教機構・東北大院理) 中村 達 (座長) 山田健一 (徳島大薬)

講演会の後, 15 件程度のポスター発表を受け付けます。発表をご希望の方は, 下記の連絡先までお申し込み下さい。また, 講演後に講師の先生とフォーラム幹事を交えた情報交換会・ポスター発表を行います。

参加費 無料

情報交換会 会費: 一般 1,000 円, 学生 500 円 [ポスター代表発表者は無料]

参加申込方法 郵送等

申込先・問合せ 770-8514 徳島市山城町西浜傍 180 徳島文理大学薬学部 加来裕人 電話 (088)602-8452 E-mail: kaku@ph.bunri-u.ac.jp

## 化学への招待 (東北支部第 368 回) 小中学生のための化学実験講座 —訪問実験—

主催 日本化学会東北支部 鶴岡工業高等専門学校創造工学科

会期 7月1日(水)8時30分~11月30日(月)17時

開催方式 対面式

会場 山形県内各児童館小学校中学校など (山形県内各児童館小学校中学校) [交通] 自動車

参加申込締切 6月30日(火)まで。定数になり次第

1. 温度で色が変わる人工イクラを作ってみよう。2. スライムカーボン電池でオルゴールをならしてみよう。3. 紙オムツの謎 (高吸水性高分子)。4. 刑事ドラマに出てくるルミノール化学発光について知ってみよう。5.

カラフルな人工イクラを作成してみよう。6. オリジナルレインボースコープを作って光の成分について学ぼう。7. 暗やみで光る生分解アクセサリーを作って光る仕組みについて考えてみよう。8. あなたが被験者 (目の仕組み)。9. 虹色に輝く高分子液晶。10. 果物の香りをつくる。11. 野菜の中に含まれる DNA を取り出してみよう。12. スライムからスーパーボールを作ろう。13. 酵素の働きと性質。最新テーマにつきましては下記鶴岡高専の HP に随時掲載していきます。

参加費 無料

参加申込方法 E-mail

申込先・問合せ 997-8511 鶴岡市大字井岡字沢田 104 鶴岡工業高等専門学校 創造工学科化学 生物コース 上條利夫 電話 (0235)25-9453 FAX (0235)24-1840 E-mail: kamijo@tsuruoka-nct.ac.jp https://www.tsuruoka-nct.ac.jp/jikken/

## 2026 年度 「ぶんせき講習会」(基礎編その 2)

—化学分析の基礎講座～実験用基本器具、

マイクロピペット、電子天びん、および

pH メーターの原理と使い方～

主催 日本分析化学会近畿支部 近畿分析技術研究懇話会

協賛 日本化学会近畿支部

会期 7月2日(木)9時50分~16時50分

開催方式 対面式

会場 (株)島津製作所関西支社 (大阪市北区梅田 1-13-1 大阪梅田ツインタワーズ・サウス 24 階) [交通] 阪急「大阪梅田」駅より徒歩 7 分, 阪神大阪「梅田」駅より徒歩 1 分, 大阪メトロ御堂筋線「梅田」駅より徒歩 1 分, 大阪メトロ四つ橋線「西梅田」駅より徒歩 3 分, 大阪メトロ谷町線「東梅田」駅より徒歩 2 分, JR 大阪駅より徒歩 3 分, JR「北新地」駅より徒歩 4 分

参加申込締切 6月25日(木)ただし定員 (20 名) になり次第。※6月26日(金)以降のキャンセルは不可。

講習

1. 講義: 実験用基本器具の原理と取扱い方 (神戸大院海事) 堀田弘樹

2. マイクロピペットの取扱い方と管理方法 (実習付き) (イー・アンド・デイ) 羽生 智

3. 電子天びんの原理と取扱い方 (実習付き) (島津製作所) 本田弘毅

4. pH メーターの原理と取扱い方 (実習付き) (堀場アドバンスドテクノ) 桑本恵子

参加費 主催・協賛団体所属会員 7,000 円, 学生 4,000 円, 会員外 11,000 円

参加申込方法 郵送等

申込先 550-0004 大阪市西区鞠本町 1-8-4 公益社団法人日本分析化学会近畿支部 電話 (06)6441-5531 FAX (06)6443-6685 E-mail: mail@bunkin.org https://www.bunkin.org/2026/0702\_bunseki\_kousyu2.html 問合せ 601-8551 京都市南区吉祥院宮の東町 2 西尾友志 (堀場アドバンスドテクノ) 電話 (075)321-7225 E-mail: yuji.nishio@horiba.com

## データ駆動型材料科学研究会 2026 年夏季年会

主催 データ駆動型材料科学研究会

協賛 日本化学会

会期 7月6日(月)12時~7日(火)17時

開催方式 対面式

会場 東京科学大学大岡山キャンパス西 9 号館 (目黒区大岡山 2-12-1) [交通] 東急大井町線・目黒線「大岡山」駅から徒歩 1 分

参加申込締切 7月5日(日)

データ駆動型材料科学研究会では, 2026 年 7 月に「2026 年夏季年会」を開催いたします。本年会は, データ駆動型材料科学における研究成果や実践事例を共有し, 分野・所属を越えた議論と交流を促進することを目的としています。口頭発表, ポスター発表, 招待講演に加え, 参加者どうしの交流を深める懇親会も予定しており, アカデミア・産業界の双方から幅広い参加を歓迎いたします。

イベントページ: <https://sites.google.com/view/soddms/activities/events/2026-7-6>

参加費 [事前登録] 日本化学会会員 (学生以外) 6,000 円, 日本化学会会員 (学生) 3,000 円, [直前登録] 日本化学会会員 (学生以外) 8,000 円, 日本化学会会員 (学生) 5,000 円

懇親会 7月6日(月)18時予定, 東京科学大学大岡山キャンパスつばめテラスにて。会費 5,000 円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ データ駆動型材料科学研究会 柴田ラビ <https://soddms-202607.peatix.com/>

## 界面コロイドラーニング (大阪会場)

—第 42 回現代コロイド・界面化学基礎講座—

主催 日本化学会コロイドおよび界面化学部会

会期 7月16日(木), 17日(金)

開催方式 対面式

会場 大阪産業創造館 (大阪市中央区本町 1-4-5) [交通] Osaka Metro 中央線・堺筋線「堺筋本町」駅徒歩約 5 分

参加申込締切 定員になり次第

界面・コロイド化学は, 洗浄・化粧品・塗料など日常生活に密着した製品から, 医療材料・医薬品, 最先端の電子部品用材料まで, 様々な工業製品開発において重要な役割を果たしています。本講座は, 特に若手社員や新たにこの分野の知識を必要とされている方々を対象とし, 界面・コロイド化学の幅広い内容を基礎からしっかり学んでいただける, 毎年大好評の集中講義です。東京と大阪それぞれ別日程で開催します。

7月16日(木)

1. コロイド・界面科学 —表面張力と表面積が織りなす世界 (山形大) 野々村美宗

2. 基礎からの界面活性剤 (大阪技術研) 懸橋理枝

3. 乳化の基礎 (コスメスクリプトコンサルティング) 岡本 亨

4. 界面活性剤多成分溶液系における相図の見方と製剤への応用 (日光ケミカルズ) 鈴木敏幸

5. 洗浄の基礎と応用 (花王) 坂井隆也

**7月17日(金)**

6. 微粒子分散系の分散・凝集の基礎 (同志社大) 石田尚之

7. 固体表面・細孔空間での現象 (岡山大) 大久保真広

8. 有機・無機ナノ粒子の製法と基礎物性 (東北大) 蟹江澄志

9. 高分子の界面化学 (関西大) 宮田隆志

**参加費** 部会員 30,000 円, 日本化学会・協賛学会員 35,000 円, 非会員 40,000 円, 学生 10,000 円 (いずれも教科書込)

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 第42回現代コロイド・界面化学基礎講座事務局 E-mail: jigyokikaku\_01@colloid.csj.jp [https://colloid.csj.jp/202603/42th\\_colloid\\_interface\\_osaka/](https://colloid.csj.jp/202603/42th_colloid_interface_osaka/)

夢・化学-21 化学への招待  
北海道大学化学系への  
二日体験入学

**主催** 日本化学会北海道支部

**会期** 8月3日(月), 4日(火)

**開催方式** 対面式

**会場** 北海道大学大学院理学研究院・工学研究院・先端生命科学研究院・地球環境科学研究院・触媒科学研究所・電子科学研究所 (札幌市北区) [交通] JR「札幌」駅より徒歩約15分, または地下鉄南北線「北12条」「北18条」駅より徒歩約12分

**参加申込締切** 6月19日(金)ただし定員(110名)を超えた場合抽選

**1日目**

1. 『流れ』によって化学を変える (北大院理) 永木愛一郎

2. 手のひらサイズの化学工場 (北大院工) 真栄城正寿

**2日目** 研究室ごとに分かれて実験を行う (約23テーマ)

**対象** 高校生

**参加費** 無料

**参加申込方法** Web 下記HPよりお申し込み下さい。7月中旬までに「決定通知書」を本人宛にお送りします (E-mail)。E-mailにてお問い合わせの場合、タイトルは必ず「体験入学お問い合わせ」にてお願いします。

**申込先・問合せ先** 060-0000 札幌市中央区北1条西3丁目3 ばらと北1条ビル10F-3S 日本化学会北海道支部 電話(080)2862-6084 <https://hokkaido.csj.jp/>

-----

## 2026年度化学史学会年会

**主催** 化学史学会

**後援** 日本化学会

**会期** 8月29日(土), 30日(日)

**開催方式** オンライン・対面併催

**会場** 東京大学本郷キャンパス山上会館大会議室 (文京区本郷7-3-1) [交通] 地下鉄丸の内線「本郷三丁目」駅より徒歩8分

**参加申込締切** 8月上旬

**8月29日(土)**

1. 開会

2. 一般講演(1)

3. 一般講演(2)

4. シンポジウム1「なぜ科学史・化学史を教えるのか—教育実践と学術研究の距離を再考する」\*

[特別講演] 日本の新制大学における科学史教育導入と玉蟲文一 (関西大) 杉本 舞 趣旨説明

中等教育 (高等教育を含む) における科学史教育 (東京成徳大学高) 杉田高啓, (駒場東邦高) 佐野浩史, (横浜商科大) 久保輝幸

高等教育 (中等教育との関わりを含む) における科学史教育 (東大) 河野俊哉, (武蔵大) 遠藤瑞己

コメント 鶴岡義彦 (千葉大名誉)

パネル・ディスカッション～質疑応答

5. 総会, 懇親会

**8月30日(日)**

6. 一般講演(3)

7. 一般講演(4)

8. 一般講演(5)

9. シンポジウム2「化学史研究の半世紀: 回顧と展望」(11)\*

17世紀化学史—この半世紀を振り返る: 内田正夫

20世紀転換期イギリスにおける教育と公衆衛生の交差 (広島大) 三時真貴子

化学巡礼—アウグスト・ケクレの足跡とゆかりの化学史跡について: 中辻慎一

日本の毒ガス戦の歴史研究—回顧と展望 (東電機大) 田中浩朗

10. 閉会

\*一般公開プログラム

※最新のプログラムは下記化学史学会HPをご覧ください。

**参加費** [対面参加] 3,000円 (学生1,000円) ※一般公開プログラム (特別講演・シンポジウム) のみの参加は, 参加費無料です。 [Zoom参加 (視聴のみ)] 参加費無料

**懇親会** 5,000円 (学生2,000円)

**参加申込方法** Web

**申込先** 化学史学会 下記HPよりお申し込み下さい。

**問合せ先** 514-8507 津市栗真町屋町1577 三重大学 全学共通教育センター 和田正法 研究室 化学史学会事務局 <https://kagakushi.org/form>